

日本臨床検査専門医会

平成 22 年度第三回常任幹事会議事録

平成 22 年 10 月 22 日

平成22年度 第三回常任幹事会 議事録

日 時:平成22年10月22日(金) 午後3時～午後4時50分

場 所:日本臨床検査専門医会事務局

出席者 : 渡辺 清明会長、渡邊 卓副会長、佐守 友博副会長、
矢富 裕、土屋 達之、東條 尚子各常任幹事、
高木 康監事 (総数10名中7名出席)

欠席者 :山田 俊幸、村田 満各常任幹事、水口 國雄監事

事務局 :藤本梨恵

議事の審議内容及び議決の結果

司会者の東條幹事が開会を宣し、3分の1以上を満たしたことが発表され、総会の定足数に準拠し本会議成立を確認の上、議長として渡辺会長を満場一致にて選任。議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を選任した。

議事録署名人 矢富 裕幹事、東條 尚子幹事

第二号議案 臨床検査専門医・管理医審議会に向けて

議長は、臨床検査専門医会が主催する『生涯教育講演会』を専門医更新の必須要件を満たす講習会のひとつとして認定してもらおうよう、日本臨床検査医学会に働きかけることについて、第3回全国幹事会(平成22年9月9日)で承認されたことを確認した後、臨床検査専門医・管理医審議会(日本臨床検査医学会)への提案書(案)について、東條庶務・会計幹事による詳細の説明の後、これを議場に諮った。提案書(案)に一部不適切で誤解をまねく表現があるため、修正したのち臨床検査専門医・管理医審議会に諮ることで全員異議なく承認可決した。

報告事項

1. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

矢富委員長より、以下の活動報告があった。

- 1) Lab CP(池田委員) : 現在28巻2号 特集「採血」を準備中である。
- 2) JACLaP NEWS(金子委員) : 原稿収集に苦勞している。
- 3) JACLaP WIRE(大西委員) : 広く周知するものとして、検査センター情報の配信

を検討している。日衛協の小林事務局長に提案中である。

4) 日本臨床検査専門医会 要覧(木村委員) : 9月に発刊した。報告書例に目次を付けるとよかった。

5) 日本衛生検査所の協会誌『ラボ』の平成23年4月からの新シリーズについて、「検査を知る」の目次案の提示があり、全員異議なく承認可決した。

6) その他

「臨床検査管理医マニュアル」を作ってはどうか。ホームページに管理医のコーナーを設け、原稿を蓄積したのち書籍化するなどの方法があり、具体的な方法について検討することになった。

ツイッター登録してはどうかという提案については、悪いことではない(高木監事)、そぐわない(佐守副会長)などの意見があった。積極的な参加は見合わせるようになった。

なお、情報・出版委員会活動について以下の意見があった。

(高木監事) Lab CP特集(案)について、教育に役立ち、教材としても利用可能なReversed CPGの特集がよい。

(渡邊副会長) JACLaP NEWSについて、検査専門医は経歴が様々なことから、自己紹介コラムを連載してはどうか。

(東條庶務・会計幹事) 要覧の記載内容について訂正申し出があり、訂正紙を次回のNEWSに同封したい。

② 教育・研修委員会

山田委員長に代わり、東條庶務会計幹事より、平成23年度の生涯教育講演会ならびに教育セミナーの方針について説明があった。

記

○生涯教育講演会

開催日時 平成23年6月10日(金) 2時間を予定

記載場所 アリーナ内の会議室

参加費 2,000円

演者(予定) 検査室管理入門 木村聡先生

検査室コスト管理 米山彰子先生(演者変更の場合あり)

○教育セミナー

今年度と同様の形式とする。リスクマネジメントについての講演も行う

平成23年5月連休明け 実習形式(自治医大)

③ 資格審査・会則改定委員会

特になし(土屋委員長)

④ 渉外委員会

特になし(佐守委員長)

⑤ 保険点数委員会

渡辺清明委員長より、平成22年9月9日に行われた第2回委員会（日本臨床検査医学会臨床検査点数委員会との合同開催）の報告があった。両会からの申請希望項目を、臨床検査振興協議会と協調して要望していくことが確認された。内保連への要望書の第1回締め切りが12月10日であるため、11月に第3回合同委員会を開催し、要望書を分担して作成する。専門医会からの要望項目としては、血液採取（増点）、末梢血液像（増点）、尿沈渣（増点）、微生物学的検査（増点）を考えている。

⑥ 専門医数増加方策検討WG

木村委員長に代わり、東條庶務・会計幹事から平成22年9月11日に行われた第2回WG会議の報告があった。具体的方策として、活動内容、専門医取得のメリットや認知度を高めるための広報活動として、ホームページ掲載、グッズ作成と頒布、臨床検査を題材としたテレビドラマの作成、出版物や講演会による市民アピールなどがあげられた。また、検査医を目指す医師へのサポートとして、病院間研修システムの構築、学術集会時の教育・研修システムの充実などがあげられた。

なお、WG活動については以下の意見があった。

（渡邊卓副会長）専門医増加のターゲットは、新人医師、検査室に出入りする医師、検査部所属の医師、検査部長など様々で、対象によって専門医数増加方策は異なる。たとえば、検査部長の中には、きちんと管理業務していない部長が多いと思われる。検査部長は「検査専門医」を取得しているべきであり、また「検査専門医」が検査部長として活躍していることを示すべきである。病院管理者の理解・認識を得ることも重要であり、適切な管理を行っていない場合に起こりうる「リスク集」を作って配布する、検査の専門知識を有する「検査専門医」を検査部長にするべきとの広報活動をするなどしてはどうか。

（高木監事）専門医認定機関と渡邊卓副会長の発案するコンサルティング業務は別機関がよく、日本臨床検査医学会よりも専門医会で行った方がよいかもしれない。

（佐守副会長）検査は正しく行う必要がある。検体検査管理加算Ⅳを取得するにあたり、病院管理者から検査専門医の紹介を頼まれることがあり、認識の高い病院管理者もいる。

(渡邊卓副会長) 大病院の検査部長には専門医へのステップとして管理医を取ってもらう。「検査管理マニュアル」の作成頒布による管理医の啓発も必要である。その他の学習手段としては講習会とともにE-learningも効果的である。検査部長は立場上、臨床検査専門医を持っているべき職位であり、臨床検査専門医取得への道筋、プログラムを作り、広く周知・宣伝する必要がある。

(渡辺会長) 検体検査管理加算Ⅳを取得するためには検査部長が必要である。たとえば病理部や診療科の長は専門医を取得していることが多いが、「検査」は特に、専門医が少ない分野である。

(土屋幹事) 実態調査が必要、主だった病院の検査部長リストを作成してはどうか。次回の幹事会までに庶務・会計監事が病院の検査部長リストの準備を試みることとなった。

⑦専門医広告啓発促進WG

村田委員長に代わり、東條庶務・会計幹事より、平成22年9月9日に行われた第2回WG会議(日本臨床検査医学会 広報委員会との合同開催)の報告があった。

A. 専門医への一般への啓発としてホームページへの他のサイトからのアクセス追加、市民公開講座の開催、イベント時における臨床検査相談コーナーの開設があげられた。実際に、臨床検査の日(11月11日)に検査専門医が相談を受けることになった。

B. 専門医の医師への啓発として医師向けサイトなどとの連携案が出された。

C. 専門医広告への働きかけについては、専門医制度・認定機構の方向性を考えると暫くは静観すべきとの意見が出された。

D. 専門医のインセンティブについて、検体検査管理加算Ⅳは専従(管理医)を要件とする案が出されたが、管理医の数の問題などの議論が必要である。

なお、WG活動については、佐守副会長より、もっと会員全体で共通の意識をもつようにすべきであるとの意見があった。

2. その他

① 会費納入状況について

東條庶務・会計幹事より、会費納入率を上げるため、平成20年度以降で未払いのある会員には再度、納入依頼を発送しているとの報告があった。また、9月の総会時、現金による会費の支払いを受けつけたところ、十数万円の徴収が可能であったことから、今後、春季大会や総会時に支払い窓口を設置することを考えている。

②「臨床検査の日」制定フォーラムについて

佐守副会長より、臨床検査振興協議会の広報活動として行われる、「臨床検査の日」制定フォーラムについて報告があり、フォーラムへの参加ならびに、「臨床検査専門医による無料

検査（健康）相談コーナー」への協力要請があった。

記

「11月11日は臨床検査の日」記念日制定についての記者会見

日時 平成22年10月25日(月) 14時～

場所 厚生労働記者会(9階)

臨床検査の日・制定記念行事

日時 平成22年11月11日(木) 2時～4時30分 入場無料

場所 中野区もみじ山文化センター「なかのZERO 小ホール」

主催 臨床検査振興協議会

イメージキャラクター 八名 信夫

午後1時～2時30分まで会場ロビーにて臨床検査専門医による無料検査（健康）相談コーナーを開設

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成22年 11月 11日

矢富 裕 印

平成22年 11月 19日

東條 尚子 印